

はじめまして

世話人 谷野 恵子

4月から、初めて世話人の仕事に就きました。入居者の皆さんとの関わりの中で、困った時はどうすれば良いか、先輩世話人にアドバイスをいただき、探りながら日々仕事をさせていただいています。

入居者が本当は世話人にどんな気持ちを伝えようとしていたのかを考えながら関わるようになってきました。一見怒っているように皆に言葉をかけている入居者も、相手を心配している気持ちがあり、本当は優しいんだなと感じられることがあります。私が声をかけ話を聞くと納得してもらえ、ニコッと笑顔になります。穏やかな表情になるのを見ると、世話人という仕事のやりがいと楽しさを感じます。

皆さんから「次はいつ来る?」と聞いてもらえるようになり、とても嬉しかったのを覚えています。この気持ちを忘れず、仕事をしていきたいと思えます。

こぶなの家誕生会

世話人 木藤岡 一幸

7月生まれの入居者2名の誕生会を、皆さんが希望する馴染みの食堂でやることに決定！コロナのため久々の外食でした。

当日は夕方から雨、雷という悪天候。そんな中を出向くと、お店の皆さんから大歓迎を受けました。チャーシュー麺やかつ定食などそれぞれ好きなものを注文し、お店からサラダや漬物などをサービスしていただき、たくさん並んだ品を一気に完食!!笑顔、笑顔でした。こぶなの家に戻った後、ケーキやジュースで乾杯し、さらにニコニコ。大満足な嬉しい夜になりました。

こぶなの家での生活が、こんな笑顔でお互いを思いやりながら過ごしていけたらいいなと思いました。



いつまでも元気に暮らせるように

こぶなの家に入居した時には60代だったOさんも、今年83歳になりました。若い頃に「働かざる者、食うべからず」が身に染みつき、6〜7キロ位の距離をへっちゃらで歩き、B型事業所にも休まずに通っていました。そんなOさんでしたが、年を重ね80歳を超える頃より週末には疲れがみえるようになってきました。

仕事一筋だったOさんがデイサービスのような所に行って満足するだろうか?と、私たち周りの者は考えました。そこでまず、半日のお楽しみ外出を計画し、平日Oさんの希望する所に出かけ、おいしい昼食をとり、その足でB型事業所に行き午後から仕事、を何回か繰り返しました。そのうち、半日仕事を休んでの外出を楽しみにするようになりました。

サービス管理責任者 宮入 和子

仕事を休んでB型事業所以外の所で過ごしても大丈夫ではないかと考え、Oさんの希望をお聞きしながら、ケアマネージャーさんの協力も得て、介護保険のデイサービスの利用が始まりました。見学の時に、野菜が植えられていたり、ゆったりとした雰囲気が気に入ったようです。

現在は、B型事業所に通いながら週1回デイサービスでゆっくり過ごして疲れをとれるようになりました。

障害福祉サービスを使いながら、介護保険のサービスも必要に応じ利用できることにより、Oさんの望む暮らしができました。

この頃のOさんは、デイサービスをととても楽しみにしていて、前よりも元気になったように思います。

総会が開催されました

第18回特定非営利活動法人春の小川通常総会は6月24日(金)に開かれました。前年度の事業報告、決算報告、監査報告及び今年度の事業計画案、予算案が提案され審議の結果全ての議案が承認されました。

